Redacção e Administração
R. Assembléa, 16 - Tel. 2-5655 - Caixa, 2765

NOTICIAS de S. PAULO
Director Dario P. Almeida Proprietario Rocro Kowyama

S. Paulo, 12 de Janeiro de 1957 - Nº 1.186
Publicação Tri-semanal

聖市アセンプレア街十六番地
一年三〇ミル
發行所 聖州新報社
發行人 香山六郎
廣告料 一段三〇ミル

外交問題紛糾を見越し 外務省首腦部連日會議

劈頭の演說內容を愼重檢討

對蘇對支政策の主旨を明示せん

（東京八日）外務省は廿一日の議會再開の劈頭に行はるべき外交方針演說の內容には特に愼重なる態度をとり新春以來連日首腦部會議を開き原案の檢討を進めてゐるが問題の中心たる對支、對蘇政策に就いては左の主旨を明らかにするものと觀られてゐる

最近の世界一般に亘る國家主義的の傾向に鑑み

我國民的生存權確保の局面は東亞に求めざるを得ぬを以て我國としては東亞の安定を計る方針であるが之を達成するためには先づ兩國の國交關係の調整を計らねばならぬ、而して昨夏以來頻發した排日事件は日支國交の調整を害する処が尠からず我國は排日の徹底的取締りを求める一方國交調整のため諸懸案の解決を求めてゐたのである、而して西安事件後の妥協工作により今後國民政府が如何なる組織を作り如何なる政策に出ずるかは我國の最も重大關心を有する處であるが尙北支は滿洲國の接壤地域として特殊地帶をなしてゐるから我國としては文化並に經濟の各方面に於て特に積局的提携を計る方針である

日ソ關係

蘇側は日獨防共協定を以て恰も自國を假裝敵とする軍事同盟の如く誤解し日蘇關係に重大なる刺戟を與へてゐるが同協定は單なるコミンテルンを目標としたものに過ぎず、何等蘇を對象としたものでないから日時の經過につれ蘇側も漸次その眞意を諒解するものと確信する、我方としては東亞の安定を計り萬邦協和の根本精神に基き蘇との親善確立を期し漁業問題、國境問題その他諸懸案の解決によつて漸次兩國關係の靜化を計る方針である

義勇兵禁止案に 獨伊條件附廻答

財政的援助問題も考慮せよ

絕對不干涉なら讃成

（ロンドン七日）昨年七月半燃發したスペイン內亂は最初破竹の勢を示した革命軍の攻勢も意外に頑强な政府軍の防衛に頓挫し今や持久戰狀態にあつて火花を散らしつゝあるが內亂の長引くにつれ諸外國人の義勇兵として交戰兩派に參加する者漸く多く內亂勃發と共に逸早く英佛兩國は不干涉を提唱、列國の參同を得たので直接的干涉により內亂の波及の危險は先づ豫防し得た形にあるも各國の義勇兵出動武器類輸出默過による間接的干涉は次第に重大危險を孕むに至つたので十二月二十六日に至り英佛兩國は再び共同でスペイン內亂鎭守府管下の海軍聯合空中分列式は十四日午前九時東京灣を中心に帝都橫濱上空に於て武官は遠藤東醫を從へ來る廿七、八日頃東京發、天津を始め北支各地の駐屯軍を視察、聖旨並に皇后陛下の令旨を傳達一般將兵に對しては清酒及御紋章附き煙草、傷病兵に對しては御紋付菓子等有難き御下賜品の傳達慰問をなし二月二十日頃歸京の筈

西國內亂の波紋

實に壯美軍國の春 陸軍始め大觀兵式

十七年ぶりに宮城前廣場で

（東京ラヂオ八日）昭和十二年初頭を飾る陸軍始大觀兵式は長くも大元帥陛下御親裁の下に今日午前十一時、十七年ぶりに宮城前廣場に於て擧行された、光榮の諸兵指揮官岩越恒一中將の指揮刀一閃、一万一千の參加部隊は軍樂隊を先頭に步武堂々壯烈極まる大分列式を開始した、一方航空兵團長德川好敏中將に率いられた所澤、下志津以下の各部隊より參加した陸軍機數百機は空を蔽ふて飛び來り、一糸乱れぬ整然たる大空中分列式を開始、空に陸に軍國日本の大繪卷は繰り擴げられた

開再會議

對支政策

劈頭の演說內容を愼重檢討

對蘇對支政策の主旨を明示せん

（東京八日）外務省は廿一日の議會再開の劈頭に行はるべき外交方針演說の內容には特に愼重なる態度をとり新春以來連日首腦部會議を開き原案の檢討を進めてゐるが問題の中心たる對支、對蘇政策に就いては左の主旨を明らかにするものと觀られてゐる

最近の世界一般に亘る國家主義的の傾向に鑑み

我國民的生存權確保の局面は東亞に求めざるを得ぬを以て我國としては東亞の安定を計る方針であるが之を達成するためには先づ兩國の國交關係の調整を計らねばならぬ、而して昨夏以來頻發した排日事件は日支國交の調整を害する処が尠からず我國は排日の徹底的取締りを求める一方國交調整のため諸懸案の解決を求めてゐたのである、而して西安事件後の妥協工作により今後國民政府が如何なる組織を作り如何なる政策に出ずるかは我國の最も重大關心を有する處であるが尙北支は滿洲國の接壤地域として特殊地帶をなしてゐるから我國としては文化並に經濟の各方面に於て特に積局的提携を計る方針である

日ソ關係

蘇側は日獨防共協定を以て恰も自國を假裝敵とする軍事同盟の如く誤解し日蘇關係に重大なる刺戟を與へてゐるが同協定は單なるコミンテルンを目標としたものに過ぎず、何等蘇を對象としたものでないから日時の經過につれ蘇側も漸次その眞意を諒解するものと確信する、我方としては東亞の安定を計り萬邦協和の根本精神に基き蘇との親善確立を期し漁業問題、國境問題その他諸懸案の解決によつて漸次兩國關係の靜化を計る方針である

北支駐とん軍慰問に 侍從武官御差遣

（東京八日）長き邊りでは支那駐屯軍の軍狀視察並に傷病兵御見舞の長き思召しから侍從武官後藤光藏中佐を御差遣の御沙汰あらせたる後藤武官は七日午前九時東京灣鎭守府管下の海軍聯合空中分列式は十四日午前九時東京灣を中心に帝都橫濱上空に於て武官は遠藤東醫を從へ來る廿七、八日頃東京發、天津を始め北支各地の駐屯軍を視察、聖旨並に皇后陛下の令旨を傳達一般將兵に對しては清酒及御紋章附き煙草、傷病兵に對しては御紋付菓子等有難き御下賜品の傳達慰問をなし二月二十日頃歸京の筈

海軍機二百餘 空中分列式

（東京八日）土浦發、橫須賀鎭守府管下の海軍聯合空中分列式は十四日午前九時東京灣を中心に帝都橫濱上空に於て武官は遠藤東醫を從へ來る廿七、八日頃東京發、天津を始め北支各地の駐屯軍を視察、聖旨並に皇后陛下の令旨を傳達一般將兵に對しては清酒及御紋章附き煙草、傷病兵に對しては御紋付菓子等有難き御下賜品の傳達慰問をなし二月二十日頃歸京の筈

婦女賣買禁止の 委員會 ジャバで

（東京八日）國際聯盟婦人兒童委員會は二月二日より約一週間に亘りクヤバ・バンドンで婦女賣買禁止に關する委員會を開催することゝなり我國からも代表參加し帝國政府としても代表委員を派遣するに決定八日左の如く發表した、尙同委員會には日本、支那、シャム、英國、フランス等東洋關係諸國並に米國オブザーバーとして參加することになつてゐる

外務事務官（條約第三課）磯野 勇三
ジャバ出張を命ず

珍客とりどり

秩父丸入港

（橫濱發）太平洋の眞中で元旦を迎へた郵船秩父丸は世界的バイオリニスト・エルマン、アメリカ總領事視察團、講道館の寒稽古にはせ參ずる上海工部局英人巡査等の船客を滿載八日新春の橫濱へにぎやかに入港した、全船はアメリカ船員爭議の影響で合計四百三十名といふ多數の內外船客を乘せてゐた、エルマンは本年四十六才、ロシヤの生んだ現代最大巨匠で十七年前來朝し以來幾度が二度目の來朝である、岩壁に待ちかまへた勝太郎等の出迎へを受け直ちに上京、帝國ホテルに入つた、東京、大阪、名古屋、福岡の各地で演奏、朝鮮、滿洲、支那を經てハルビン迄赴く筈

獨逸回答大要

義勇兵問題はロシヤに不干涉國際委員會の問題で改めて列國に諮問する

（東京八日）義勇兵問題はロシヤに不干涉國際委員會の問題で改めて列國に諮問する旨の不干涉主義である、それは兎も角も獨逸は當初より絕對不干涉主義であつたのであるから勿論英佛案に喜んで參加する但し（一）他の諸國の參加（二）他の間接的干涉も亦禁ずること（三）關係全諸國が干涉絕對禁止統制に應諾することを條件とする

伊國回答大要

英佛兩國の義勇兵禁止案は先にロシヤに於て設立を見しを不干涉國際委員會を無視し其權威を失墜し其存在意義を失はしむるもので甚だ遺憾である、それは兎も角も事實の明示の如く伊國こそは最初に絕對的不干涉を唱道し爾來、幾度か繰返し〳〵主張し來つたものである、英佛兩國が漸く最近に及んで義勇兵禁止を唱へるなど寧ろ遲きに過ぎると考へるものであるが勿論伊國は當初の方針通り義勇兵禁止に大贊成である全關係諸國を通じ完全に徹底的に實施されることを前提にしてならば、伊國は此機會に再び英佛兩國に對し獨り義勇兵問題に止まらず例へば財政的援助問題など他のあらゆる間接的不干涉問題も亦考慮さるる機熟せば提案には常に贊成するであらうことを豫告する

昭和十一年度 庭球ランキング

（東京ラヂオ十日）日本庭球協會では今日午後、昭和十一年度ランキングを發表した、男子單複第三位迄の氏名は左の如くである

▲男子シングルス
1 山岸
2 三浦
3 平井

▲男子ダブルス
1 山岸 村上
2 上原 堀越
3 平井 村上

警視總監更迭

廣島縣知事早川三郎氏に 白羽の矢立つ

（東京八日）政府は八日の初閣議で左の如く警視總監の更迭を決定した

警視總監 石田 馨
依願免本官
廣島縣知事 早川 三郎
任警視總監（一等）

三重縣知事 富田愛次郎
任廣島縣知事（一等）
茨城縣知事 安藤狂四郎
任三重縣知事（二等）
東京府書記官（總務部長） 林 信雄
任茨城縣知事（二等）

現代 軍用機の父 シュナイダー氏來朝

（神戸九日）獨逸航空工業界の覇者シュナイダー飛行機製作所社長フオン・シュナイダー氏は夫人同伴日本ディーゼル工業會社最高顧問就任の十八日新春の橫濱へにぎやかに入港した、全船はアメリカ船員爭議の影響で合計四百三十名の九日午前神戸入港の郵船白山丸で來朝した、シュナイダー氏は世界における最初の單用機製作者であり歐洲大戰に回轉プロペラの間より機關銃を發射する裝置を發明し、空中戰の進步をもたらした現代軍用機の父である

霜降りの背廣に日本人型のホ

郷土便り

岡山縣

（東京ラヂオ八日）新興國山市の發展に伴ふ市電增設の要望を滿すため市では最近十二万円を投じて動物園を建設することとなり居り完成の曉は中國地方唯一のものとして岡山市民の誇を增すことならう、産業上より特異のもの一、二を挙げるとまづ第一に俄然需要が增して來た木炭は中國山脈一帶の地方に木炭景氣を現出せしめてゐる、又鶏卵王國を以て目される當縣に對し舊藩各地方よりの注文殺到、一箱八円七十錢と云ふ數年來見ざる高價で取引されて、農家の懷中を暖めてゐる、更に名高い備前馬鈴薯は最近頓に海外輸出激增して二百數十万貫を送出するにいたつた、仕向先は主として マニラ、南洋方面で是又岡山の一面を有力に語つてゐる

大阪府

（東京ラヂオ八日）皇紀二千五百九十七年を迎へた元旦の大阪は近年にない暖さ、加ふるに工業界の好景氣により懷中の暖は元旦恵方詣りの人出に拍車を加へたかの如く大阪驛の乘降客は元旦のみで三十六万五十人切符の賣上高十万五千円を突破した、之を同日東京驛の十一万六千円に比すれば、僅に一万餘円の差あるのみである、かしこ原神宮へ六万人奈良春日神社へ十二万人、伊吉神社へ三十一万人の參詣客のつたのに徴してその人波が察せられる

聖市 中矢一郎商店
郵函二九九五
年の更まると同じく
中矢商店も
陣容を新にし
皆樣の御用命を
お待ちして居ります
豫告
近々母國のレコード
入荷の豫定

安瀨 ANZE MOLIZI
CAIXA POSTAL-300
ARAÇATUBA.N.O.B.
安瀨商會
本店 アラサツーバ市
▲事務所、精米所、珈琲倉庫
電話五四 郵函三〇〇
支店 アグアリンパ
內外雜貨、食料品、珈琲、ファ工場
支店 ヴァルパライソ
精米所 郵函一

山東 カーザ
Casa Tozan Ltda.
Praça Mauá, 25 - Caixa Postal, 911 - SANTOS
Telephones : 2105 e 2106 - End. Telegra. "TOZAN"
東山銀行部
伯貨定期預金 壹ケ年 壹歩六
サンパウロ事務所
Rua Florencio de Abreu, 76 - Caixa Postal, 528 - São Paulo
Tels. 2-186, -2981 End. Teleg. "TOZAN"
リンス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147 - Caixa Postal, 11 - Lins
Tel. 240 End. Teleg. "TOZAN"

イーシ治療機
的確な効果です
素晴らしい効めです、だからこそ世界中に認められた實績です
野一色蒸熱電氣治療普及機
日、英、米、獨、露特許
Rua 15 de Novembro
Est. Suitcase and
Tel. 2-5754
NOISHIKI & CIA.
Caixa, 465
S. PAULO

◉ ヤマト種苗の特選種子 ◉
△草花種子
金魚草 箒咲えぞ菊
矢車草 霜草
立藤草 宿根美人草
バンジー（三色すみれ） 美女櫻
★……★
御求めは各地信用ある邦人商店にて伊藤商會の種子と御指定下さい
直接の御注文は二十ミル以下は銀行小切手若しくは郵便切手にて御送金下さい
ヤマト種子特送種子
伯國一手販賣元
伊藤商會
郵函三一三二

大和種苗株式會社
弊店儀今般店契約を結びました。弊店販賣の同社種子が非常に優秀で絕對に他の追隨を許さぬ事は既に世間衆知の事で今更喋々するを要しませんが、今後は益々同社を督勵して良品が上にも良品のものを積出させて一層皆樣の御滿足をうる樣努めますから國產イムペリアルミシン
同樣倍舊御利用を願ひます
皆々樣御待兼ねの
青長胡瓜（入荷少量）
聖護院大根 宮重大根
練馬大根 結球白菜
赤丸廿日大根 山東白菜
朝鮮白菜 京菜
約子菜 法蓮草
時無蕪 春菊
聖護院蕪 東京大葱
丸茄子 長茄子
東京縮緬南瓜 レボリヨ
アルフアツセ セボーラ
各種

サレス氏PC黨首領就任は廿五日か

〈サレス前聖州今統領を全黨の首領に選任するはずであるが廿五日にはサ氏の首領就任式が擧げられる事となつて居り席上サ新首領の政綱發表が行はれる事となつて居る

一說によるとサ氏の就任式は全氏の立候補宣言の日であるとも傳へられるが、この說も今俄かに信ぜられない

因に過日來府したアルカンタラ・マツシヤード上院議員は往訪の記者團に對し次の如く語つた

サレス氏が立候補するか否かは明言出來ない、問題は今後の交渉次第である、兎も角も本月下旬には政治的

聖の折はPP・C黨員その他二千余名の熱狂的大歡迎を受けたと聖市電報は傳へて居る

マセド外相の公認候補說

マセド外相の公認候補說の非實現性は既に報じた通りであるが、聖州に於ては全氏立候補說に猛烈なる反對がある模様なるに反し當市方面には全氏の公認候補說に相當共鳴せる方面ある樣であるから今後の情勢次第にては全候補說は意外の展開を見るかも知れない、猶全氏は過日歸伯の途

自分から進んで立候補はしないが他から推されるればその時の情勢次第で立候補する

意向ある事を洩した樣であるがP、C黨内に於ける全氏の地位が今後果して如何なるも可きやが目下政界注意の焦点となつて居る

西領モロツコに獨、兵舍を建設中？

"確報"なりと佛國躍起

或は一時保障占領か

佛國政府に達せる公式情報によれば西領モロツコには目下獨逸兵を迎へるために兵舍を建設中の由なるが

右は千九百十二年締結されたる佛西條約中の外國軍隊呼び入れ禁止條項背反なるにつきブルゴス當局の注意を促すものである

（パリ八日）佛國政府は西國ブルゴス革命軍當局に對し次の如き警告を發した

土人軍は今回のスペイン内亂勃發に當りフランコ革命軍長から自由を與ふるとの約束のもとに常に革命軍の第一線に於て奮戰、最大の犧牲を拂ひ來つてゐるのであるがバダホス、イルン、トレド、マドリッドと相次ぐ

（攻撃）に最初にフランコ將軍に率ひられて本土モロッコに押し渡つたモロッコ軍中約六割が既に戰死を遂げたと傳へられる程でモロッコ土人間には余りに高價な犧牲であつたと後悔してる者漸く多く多數の獨逸人が土人のかかる空氣を利用してモロッコ獨立を煽動しつつある模樣であるが英佛兩國は万一これが事實となつて國内亂の鎭定するまでモロッなる骨威を感ずるものである

（戰）

（佛當局）

（司令官）

（パリ九日）獨逸當局は西領モロッコに獨逸軍兵の上陸したとの報道を打消してゐるがテツアンに少くとも三万の獨逸人義勇兵が居る確證をにぎつてゐる

（ラバト九日）佛領モロッコ駐屯軍オーギユスト

ノゲス將軍は語る

如何なる事態にでも應ずる用意が出來て居る、本國からは一兵も借用する必要はなからうと思ふ

佛國は千九百二十八年軍制變革の喧傳されたる通り土人軍の中堅を成すものであるとの噂さによるとモロッコ

懸念してゐる

他面ユービー通信員の報道によればヒトラー獨逸總統はフランコ革命軍長と密約を結び獨逸はモロッコ内に多大の財政經濟上の利權を獲得することになつてゐる模樣で、これが結果としてテツアン、セウタ、メリラ等のモロッコ諸港には獨逸人が群をなして到着しつつあると

（パリ九日）獨逸當局は西領モロッコに獨逸軍兵の上陸したとの報道を打消してゐるがテツアンに少くとも三万の獨逸人義勇兵が居る確證をにぎつてゐる

（ラバト九日）佛領モロッコ駐屯軍司令官ノゲス將軍は來る十五日パリに來ることになつた

（パリ九日）インツランジヤン紙ラバト通信員の報道によれば獨逸航空船ツエペリンによると右は完全に合法的行爲であつて、何等英、獨、伊乃至その他の諸國から抗議を受くべき筋合のものではない

（パリ九日）ブレスト、ツールーズ兩軍港では地中海、西アフリカ海軍秘密演習が近づいたので其準備に忙殺されてゐるが時しもモロッコ問題が喧傳され其間に何等かの連絡あるかの如く臆測を逞うする向もあるので當局は特に繰り返して、例年の行事にして何等他意なしと發表した

（パリ九日）モロッコ問題に關し政府と意見交換のため佛領モロッコ駐屯軍司令官ノゲス將軍は來る十五日パリに來ることになつた

（パリ九日）インツランジヤン紙ラバト通信員の報道によれば獨逸航空船ツエペリン

更以來、同地方に十二師團、二十万八千名を駐屯せしめて居る筈である

（パリ九日）モロッコ問題に關し政府と意見交換のため佛領モロッコ駐屯軍司令官ノゲス將軍は來る十五日パリに來ることになつた

（パリ九日）インツランジヤン紙ラバト通信員の報道によれば獨逸航空船ツエペリン

但号は其南米往復の度毎南部モロッコ上空通過に際し殊更に低空を飛行し又事ある毎に獨逸軍艦はタンジエル灣に碇泊するなど從來から兎角怪しい振舞ひがあつたが最近では

札附き

の獨逸人スパイ、ハインリヒ某、マルタ

マイヤーの兩名が政府の命を受けて潛入暗躍中である

西國革命軍援助に日本兵多數出動？

外務、陸軍兩省は否認

「ジブラルタル十一日」當地に達した情報によればカーキー服を着た日本兵多數、セヴイーリヤに到着した、西國革命軍援助の爲めである、然し日本外務、陸軍兩省はかゝることなしと否認してゐる、詳細後報

ノヴイダーデが現れるはずだ

ラオ法相大歡迎を受く

自黨を足蹴にかけてまで個人的野心を濟さむとした如く傳へられるマセド前外相の最近の態度に對しサレス氏と連帶的責任觀念の許に法相の地位を捨てたヴイセテ・ラオ氏の態度は一般に非常な好感を與へた樣であつたが、九日歸伯氏の公認候補說に相當共鳴せる方面ある樣であるから今後の情勢次第にては全候補說は意外の展開を見るかも知れない、猶全氏は過日歸伯の途

自分から進んで立候補はしないが他から推されるればその時の情勢次第で立候補する

意向ある事を洩した樣であるがP、C黨内に於ける全氏の地位が今後果して如何なるも可きやが目下政界注意の焦点となつて居る

内乱勃發の徵濃厚

センセイ省の雲行險惡

毛澤東等西安に集合

（上海九日）セントラル・ニユース南京電報によれば西安事件後南京政府は陝西、甘肅兩省に對して執つた行政機構改革に關する實事的手段は南京政府が抗日政策を執らざることを裏書きするものと解されてゐる、ヤンチユー・チヤンはかゝる中央政府の態度に業を煮やし目下匪賊を狩り集め俄か造りの兵隊とし陝西省戰略的要地の武裝强化を施しつゝある模樣で愈々南京政府に對し叛旗を翻す決意を爲したものと觀られて居る、一方毛澤東その他赤匪頭目も續々西安に集合しつゝあり傳へられ新に中央政府から陝西省主席に任命されたスン・メン・シユーは任命を拒絶した由で陝西省の風雲は惡化の一路をたどるが如き觀がある

之に對し南京政府は數名の代表をヤンの許に飛行機で急遽派遣し、學良からの書信をもたし中央政府の眞意を開陳、ヤン等の說服に努めることとなつた

省軍は張學良の拘禁に對し憤慨居れり」との電報を寄せたが事實西安事件後南京政府

支那は何處へ？

香港附近に新要塞地域

◆……英國當局聲明

（香港發）英國はさきに香港防備强化のため二千万ドル（香港ドル）を投じて永久的兵營を九龍に建設する旨聲明したがこの程更に香港の東南部スタンレイ半島を新要塞地域と決定　目下强固な要塞兵舍建設中であると聲明した

（北平九日）ロイテル通信によれば陝西省における政局は愈々險惡化し内亂勃發の徵愈々濃厚となりつゝあり駐北平

會で大聲叱呼される時代が來た。これまでもそうであつたが頻被りして叫んで暮た。英國と米國とが東亞のことには頬被り始める時代相が始まる

▲伯國も仲々に政情不安であるが、西班牙の例を目擊中である。武器としての革命騷ぎは起きまいと市民は見做居る

▲市民にインテルナショナル氣分が旺盛だけに伯國には眞に血を流しての革命はモウ當分望まれぬのかも知れない

▲此邊が伯國の特種事情のうだと見做していいだらふ

▲伯國中央と聖州とが政治的に對立してる樣にも見えるがありだから政治の妙味がある

▲日本政情も政友と民政と何の程度まで政府に共同補つゝか、在伯邦人には彼岸觀の妙味ありである

▲幾夜雨にぬれた日廻りの花が重たそうに頭を垂れてゐる

▲西班牙内乱の後援を意味するんでなく、赤に對して共同の防共を意味する徵章だそうな

▲赤が全色赤族であるに對し日本が白地に赤く日の丸を印し、赤と白との中庸を行つて居る處に無限の妙味がある

▲東亞の安定勢力の日本と國際的手段は南京政府が抗日政策を執らざることを裏書きするものと解されてゐる、ヤンチユー・チヤンはかゝる中央政府の態度に業を煮やし目下匪賊を狩り集め俄か造りの兵隊とし陝西省戰略的要地の武裝强化を施しつゝある模樣で愈々南京政府に對し叛旗を翻す決意を爲したものと觀られて居る、一方毛澤東その他赤匪頭目も續々西安に集合しつゝあり傳へられ新に中央政府から陝西省主席に任命されたスン・メン・シユーは任命を拒絶した由で陝西省の風雲は惡化の一路をたどるが如き

パナマ運河を放棄し

ハワイ群島を國際化せよ

米バトラー少將主張

（カンサス・シティ發）米國陸軍の元老前上院議員バトラー少將はカンサス・シティでハワイ群島の放棄を主張して次の如く述べた

ハワイ群島は砂糖農園で南來てゐる樂園だ、米國民はハワイの砂糖がいらないのに無税で本國に輸入され本國の砂糖業は致命的打擊をうけてゐる、米國政府は速かにハワイ群島に對する支配を放棄し全群島駐屯軍を撤收して本國の軍備を充實すべきではないか

同少將は更にパナマ運河の國際化を提唱して曰く

パナマ運河によつて國防の安全を確保しやうといふのは謬見も甚だしい、いざ戰爭となればパナマ運河など

到底防禦出來ない、再び開鑿するのに三ケ月を必要とするまでパナマ運河を叩き潰すくらいのダイナマイトならただ一人で運河地帶に持ちこめやう、パナマ運河を利用して太平、大西兩洋に艦隊を移動しやうといふ作戰は危險千万だから米國政府は兩洋を防備するに十分な艦隊を配備せねばならない

新任米國大使館參事官

駐日米國大使館

（華府九日）前下院議員、現國務省高官ズーマン氏は駐日米國大使館參事官に任命された

▲西班牙内乱に日本兵が二千余混入してるなんて本當みたいな嘘が實傳されて居る

電波高

科齒

加瀨友雄

ペラクルーズ町

FAZENDA "PATOS"
DR. FERNANDO GOMES
PROPRIETARIO
E. F. NOROESTE — PROMISSÃO — E. DE SÃO PAULO

▷土地賣出し◁

今ことく一日特賣日
皆樣の御高覽下さい
乞ふ
棉作
米作
養蚕
作物
御觀察
なるべく
早く出
お求め
下さい

位置　ブロミツソン驛より二十三キロメートル、ケツシヤーダ、エスペランシヤの地續き

交通　ブロミツソン驛より三台リオブレットより一台都合四台のジヤルグネーロの便あり

地主　ドーール・フエルナンド・ゴーメス氏（サンパウロ州政府顧問辯護士）

條件　契約と同時に百ミル入金、殘額を其の年より向ふ三ケ年拂ひます▲詳細は報時報に廣告致しますから御高覽下さい

地勞　絶對確實（法定測量濟）

地質　マサツペ・プレツ、地帶。万作に適す

價格　一等地……七〇〇ミル　二等地……六〇〇ミル　三等地……五〇〇ミル　一域に付

面積　一千アルケレス既に日本人四十家族余り入植者あり

賣出人　植民地　前田岩次郎　田泉清　藤井正人

社告

讀者中御轉居又は中止の時は速に左記事項御通知被下度し

一、舊名前
一、舊住所及新住所
一、中止又は轉居

聖報發送部

「女帶」買ひます

聖市エスツダンテ街四八　郵函六〇六

大久保

Casa Pinto

ガラス、鏡、貼紙、額縁其他一切

ガラス瓦、ガラス板、額用繪畫一切

カーザ　ピント

聖市ウエンセスラウ　郵函十六　プラス九番　電話二四三〇四

ホテル　エスタソン

マリーア驛前　郵函一一二　電話十八番

澤尾啓三

優良みかん苗木

苗木は森部へ

ノロ線グワイサラ驛郵函六一　又はリンス驛郵函二〇三

内外食料品　内外雜貨商

萩原商店

ソロ線アグードス市　郵函十七番　電話四八

本院　上塚第二植民地　ゴヤンベー町

堀田兄弟齒科醫院

分院　ゼツツーナ町

◎絶對保險附◎

聖護院大根　宮重丸尻大根　赤丸二十日大根　朝鮮白菜　山東白菜　縮緬白菜　砂川早生　芝罘白菜　不斷草（恭菜）

來なした!!待望の新種子

クニイのタネは

タキイのタネ

植物檢査課檢査濟

タキイ種苗株式會社

輸入元　國井商店

電話二二五二五　郵函二九八八

龍後拾數年間所謂問題の地「テーラ・エンクレンカーダ」として有名にて手の着けられ無かつたケツシヤーダの土地賣出が開始され。不肖私は右責任者從から地權の素性、爭訟の發端解決判決等々の調査を委任されて引受けて爾來滿二ケ月集注したる全努力は報ひられて茲に公に發表し得るを光榮とす

（一）ファゼンダ・パートス中六號區ジヨゼ、ガブリエール・ドス、サントス氏の所有全面積は八千五百アルケーレス一八五六年十二月廿八日當時のコマルカ・アララクアラ市に登記（讓與所有權）

（二）問題の地は總所有の二分の一に當り右ガブリエール氏がジヨアキン・ペレーラ

（三）ジヨアキン・ペレーラ・シーアス氏の妻はマリア・ド・カルモと呼び二人の間に一子有りジヨゼ・ジヨアキン・ペレーラと命名

（四）ジヨアキン・ペレーラ、シーアス氏死亡財産の五分の四をマリア・ド・カルモ（妻）五分の一を子ジヨゼ・ジヨアキン・ペレーラ氏相續す（遺言狀附）

（五）ジヨゼ・ジヨアキン・ペレーラ氏は其の後ロザリーナペーレスと結婚一女を生み名をマリアロザリーナと呼ぶ

（六）ジヨアキン・ペレーラ、シーアス氏の未亡人マリア・ド・カルモは其の後アントニオ・ペドロ・ダシルバ氏と再婚す

（七）マリア・ロザリーナは相續權の全部をジヨゼ・フロレンシオ・ペレラ氏に賣る

（八）ジヨゼ・ジヨアキン・ペレーラ氏はアントニオ・ペードロ・ダシルバ氏に多大の借金有りし爲め自分等夫婦の所有權を讓渡す

（九）アントニオ・ペードロ・ダシルバ氏は妻のマリア・ド・カルモと共に全財産をマノエル・ソーザ・リーマ氏に賣渡し一八九五年十一月三日登記濟み

（十）現地主ルセピアード・フオンテス・レイテ氏、ウイルヂーニヨ・フエレーラ・アラウヂヨ氏、ジヨン・ソアーレル氏、アンテノール・ボルバ氏、ドーナ・ベルヂーナブラガ氏、ドトール・ソアーレル・ゴーメス氏の六人は右マノエール・ソーザリーマ氏より買ひ受け同日登記濟み（全所有ジヨゼ・ペレーラ氏讓渡分迄含む）

（十一）アマデウスリアーニ氏はフロレンシオ・ペレーラ氏の仲間になり二人は眞地主の不在に乘じマリア・ロザリーナより買ひ受けたる相續權五分の一九百アルケーレスの外四千三百アルケーレス全部を横領す

（十二）眞地主六氏は爭議の好ましからざるを說き凡ゆる手段方法を以て和解を奬むるも彼二人は頑として應ぜず茲に止むを得ず法廷にて白黑を決する事となり仲間の一人ドーール・フエルナンド・ゴーメス氏に辯護を委任す

斯くして一九二三年二月ペンナボリス地方裁判所にて地權の調査が實施され一九二三年九月ペンナボリス地方裁判所にて地權の調査が實施され一九二四年九月八日（控訴二九七九番）は州控訴院にて審議の結果一致の勝利となり判決、即ち「負債が相續權の價値を超過する場合は自然其の權利消滅す」此の場合マリア・ロザリーナ氏が相續權の一部を又ジヨゼ・ジヨアキン・ペレーラ氏がアントニオ・ペードロ・ダシルバ氏に多大なる負債有りし事實に依て其の繼承人ジヨゼ・ペレーラ氏は單に「マリア・ロザリーナ氏個人に對し其の責任を負はせる丈けに止まり、不動產に對する何等の權利を認めず、權を逸せず法定分割測量申請不成」最後に一九二九年八月廿日反對側法定分割取消し申請も州最高法廷（コルテダペラソ）にて滿場一致の却下退辯となり曰く「早や前後三回の判決ある本件は此の上申請の餘地權利無し」（一九三五年二月十三日）同時に法定測量認定（一九三五年三月廿八日）と共に流石に世を騷がせたる地權も今日ヤツト終局を告げガブリエール・ドス、サンス氏所有の半分約四千三百アルケーレスは茲に無事眞地主（繼承者）六人の深白無係累なる所有權に歸し以後十分の遺ひざる絶對確實なる地權となる

勝訴側の一人且辯護士としてドトール・フエルナンド・ゴーメス氏が自分の所有及び辯護料として得たる土地併せて一千アルケーレスを今度ジヨゼ・ジヨアキン・ペレーラ氏に現にブロクラドリア・ド・ファゼンダ・ヤエスタード・デ・サンパウロの重職に在り

一九三七・一・九　サンパウロ　相馬勇

二分法修正案の提出愈々近きか

但しその成功は未知數

サレス師聖州々統領の後継者統領立候補問題が現れてから聖州政府與黨の大御所の如き觀ある上院議員アルカンタラ、マツシャード教授は去六日政治的重要使命を帶びて突如聖府八日夜退府歸聖したが氏は往訪の一伯字記者に對し過般來氏の提唱せる二分法の修正問題について要旨次の如きインターヴューを與へた由報ぜられ、關係方面に相當の注意を喚起してゐる樣子である

自分は二十日ごろ二分法の修正案提出に關する聖州政府の委任狀を拂へて再び州府する積りであるが聖州の修正意見は二分法の正文を撤廢し政府の契約移民は移民とは見做さず自費移民に渡來する移民には四分乃至五分位の入國率をあたへるメ言ふにある

右の如く聖州側が憲法修正案向のある事は益々明瞭となりつつあるが、由來新憲法の規定するところによると憲法修正案は

一、上下兩院議員數の最少限四分の一の主唱によるか

二、全國半數以上の州の主唱による

べきもので何れも二議會(二ヶ年間)を通じて同樣の得票が必要とする

但し上下議員の議員數の三分の二以上の賛成ある場合には同一議會に於て可決される事となつて居り現に昨年の憲法修正の折にもこの方法が實現されたが一体憲法修正の如き大事實は政府の絶對的支持を得るか政府の威信地に落ち反對派が壓倒的努力を得る場合ならでは反政府的政黨の提出せるものは中々通過困難であるからこの際移民修正の如き大事件が聖州によりて貫徹し得るかと言ふ事に相當の疑問がありまた大いに興味も持たれると言ふ譯である

聖州代案は

再び通常議會へ逆戻りか

汎米平和會議の移植民新議定に適應する機修正せしむるため過般通常議會を通過して大統領の手許へ送附された移民法代案は舊臘下旬發表の審議コミュニケによりその運命が危險視せられ早くもにぎつつぶし說さへ報ぜられてゐたが最近にいたり汎米平和會議に於て可決された移植民の新定義に適應する必要ありとせる樣修正する必要ありそれがため近く大統領の手許より審議會へ返附される模樣である

審議會における全案の再審議日附は明確ではないが今後二週間以內位と見られてゐる

「ドトール連の療養所見學」

嵐を衝いて

立派に出來た

カンポス・ド・ジョルドン

醫師會も同仁會かも醫者連もこれには悲鳴、評議員會も無事武田、細江、內田、原氏の貸濟んだし……それに久し振りに醫師歷志相寄つたんだからとついこの樣な仕末、一行は其の夜深更一時迄療養所各部門に亘つて審議し小魚寢の夢を結び翌十日はカンポス市長、サンタ・カーザ醫院長其の他の要人を訪問、敬意を表し同日六時ピンダより二百粁を自動車にて昨朝三時歸聖した、療養所は立派に出來て居た、非難すべき点はなかつた、だがやがて物の二粁も行けば目指す療養所へ着けると思つたトンデン、篠つく雨と風に見舞はれ少々の切開手術にも頓と驚いふ譯で去る九日朝七時十分聖市發でカンポス・ド・ジョルドン肺結核療養所見學へ旅立つた、一行は武田、內田、笹田、今田、原、細江のドトールの錚々連、それに同仁會監査役中野巖氏と總領事館菱川副領事の八名、途中の八分通りは無事、汽車、自動車に揺られての旅はよかつたが、何の因果があつて初見學に雨に祟られたやら……いや見事に濡れた

動かす、その揚句はパンクに醫師歷志相寄衆る、仕方がない、その嵐を衝いてやうやく療養所に辿り着いたのは午後一時半、一行は其の日の午後一時迄療養所の諸部門を視察、夜は同仁會主催の歡迎會に出席、翌朝七時十分聖市發で帰聖した

Assignaturas
Anno. 30$000 Seestre. 15$000 - Avulse, $500

Noticias de S. Paulo
(Jornal Nipponico)

S. Paulo, 12 de Janeiro de 1937
Anno. XV Numero 1.186

文藝

ユウローパ

牛に因める希臘の神話

耕村生

或る靄かな朝だつた。ユーローパ姫は城から出で牧場の方へ草花を摘みに行つた。そこは海に近く野にはいろいろな美しい花が咲き乱れて居り、樹々には小鳥が囀つてゐた。そこらに草を喰んでゐる羊や牛もみな王女によく馴れてその名を呼べばみな集つて來た。姫はフト一匹の見なれぬ牛を見た。全身眞白でからだ大きく茶色の眼は柔和そうであつた。姫は恐るることもなくこの牛のそばに近寄り、摘みあつめた花で花輪をつくり牛の頸にかけてゐつた。牛はその柔和そうな眼で姫をながめて喜んでゐる風だつた。がやがて蓮華草の中に身を埋めて徐に横たわつた。姫は小さなも一つの花輪をつくつてその角にかけようとして背に乘つたところ、アツと云ふ間に牛は立上つて忽ち一散にかけ出した。姫はアツと驚き角につかまつてやつと身体を支へ恐ろしさに飛下りようとしたがあまり迅く走るのでそれは出來なかつた。やがて牛は王女を背にのせたまま海の中に入つて行つた。姫の驚きの叫を聞いた牧場の人や宮殿の人達が活を雪んだのだと云ひ傳ふ。濱邊に出て來た時はは遠かに彼方の海の上に白い獣の波をかきつつ泳ぐのを見るのみだつた

王女の父王はこの出來事に狂氣の如く人々を叱りはげまし船を出して姫のあとを追はせたが遂に行方はしれなかつたのだつた。お城の内外は悲しみの聲がみなぎつた。父王は三日も食事をとらず打ち沈んでゐられたがやがて王子（姫の兄）を呼んで命じた。お前達はこれから船にのつて王女の行方をさがしてくれ、王女を見出す迄は歸つてはならぬ」と

王子ケドマスは直ちに若者二十人を撰び船出した。牛の游ぐ方向は逐に知れなかつた。この旅行は數年つづいた。そしてその間に父王様はこの世を去られたのであつた

王女ユウローパの消息は遂に知れなかつたが實はクユピタアが白牛となつて姫をつれ出し人に知られぬ國で幸福な生活をしてゐるのだと云ひ傳ふ。王女の名を今に殘してゐるのが即ちチューローパ（歐羅巴）の事であると云ふ

妹へ

文藝便り

聖市　のお正月は蒸暑く雨もよいだつた。何十年か先に日本から移し植えられたと云ふねずみもちの並木の花が一時に咲き揃ふた。この木を見る度に「日本」と云ふ懐かしさと誇らかなものが胸に來る

九月七日の廣場はこの花の木に取圍まれて芬々匂つて居る。小さな白い花が大分舗道に散つて居る。花の散りかゝる公園の石段の上に昨日は朝から一人の日本人が腰掛けてちつと考へ込んで居た。自姓らしく、そして顔がむくんで居た。今日もこの花曇りみたいな日中の同じこの石段に一人の外人の老婆、これもいそぼらしいのが腰かけて！よんぼりして居た。大都會の真中の憂鬱だ

元日

早朝お前が裏の流れで山程洗濯して居た。折柄遊びに來て居た牧師に「こんな日に迄働かなくともいゝ」と叱られた。その時、急にやさしく牧師に叱られて泣き出したお前に——日本で貧乏して居て手の甲にひゞをきらして居るより、正月早々サボリと洗濯出きるが何よりだ！——等と喉を締められる樣な聲を出して自分は怒鳴つたが痩我慢の有丈だつた

正月が來る度、あの時の事を思ひ出すのだけれど、今年もあの頃自分等の樣な貧乏に追はれてる人もあるかなと思ふのだ。あの頃は忙はしいに忙しかつたが、全く無一文の身の方、俺等家族を哀れ？と思つたか隣家のSさんの奥さんがソツと裏口から一羽置くと逃げる樣に去つて行つた

三、四年も年を取つてる樣な固い〳〵ガーロ（をん鶏）だつた

その

ガーロのソツパで夜の十時頃漸くマカロンを食べて年を越した。翌日の御馳走はミイリヨのアングーだつた。前夜一大晦日ーのガーロのソツパの殘りにキヤボを刻み込んで——。眞個は十三のお前を顧に五人の子供達はパモンニヤを作つて欲しかつたのだつた。然し……パモンニヤには砂糖やらバーニヤやら牛乳やらしこたま費るのでお姉さんは子供達に生のミイリヨを取つて來さして、散々キ金のいらないアングーにしてしまつた

田舍

はキヤボもミイリヨも盛りだろう。鼻にかゝつてパモンニヤ食べたがつた十三のお前がもう三人の子持になつて——毎年毎日棉の畠の草取りに追れて居ます。相變らずの貧乏と共に……然しお陸樣で今年は餅は十分食べられました——と手紙をよこしたけれど、當方もお陸樣で今年はお餅が戴けた……！

三水會

去る三日夜八時半から加藤芭川氏宅で三水會の新年初句會があつた。參集者主石、曉雪正壽、芳國、憂沙女、芭川、素骨の七名

年末年始の雜吟持集互選の結果最高点句二三は左の如し

▲羽子つきを知らず十二となる娘かな（曉雪）

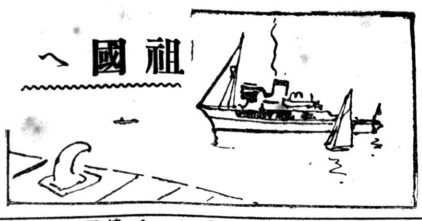
▲アンデスを越えぬと友の初便り（陽水）

▲御用始め待つて出産屆けり（芳國）

▲除夜の鐘電柱たたき始まり（憂沙女）

來る廿日の例會參廻は釣床、乳酪、果

祖國へ



第二世の航海通信

（第二信）

十一月三日

ポーストン港着前

モンテ丸　夫陽

父上様

皆んな僕の如く運者でしたうね

頭痛もなく、胃も悪くない至極いい氣分だ

今日は明治節だ、皆んなで日本の國歌君が代をうたつた

船の食物は豚小舍の泔り物の樣で、仲々嚥み込めない

今迄僕は塩とお粥だけでくらした。梅干は僕には何うもいけないようだ

今日は佳日で小豆飯で、ピノのサラダ、野菜、漬物、燒魚もあつたが、僕には喉へ下らなんだ

大した御馳走だ

船酔ひせない日は大抵ビンボンをやつてる

ビンボンは船で僕が一番優勝者だが、油斷するよ僕も負けそうな相手もゐる

仝室者は八人で、農友社の折井さん夫婦と小兒さん、ルサンビーラの丸山さん夫婦、マツリヤの青木さん夫婦、カタンゾーバの河田さん、皆んな仲よしです。皆僕を可愛がつてくれる

原口さんも奥樣も僕の面倒見て下さる

三輪ちやん、貞ちやんとも戯び、男太郎とはビンボンをやつたりする

外に二家族知人になつた人々がある

永井さんと子息さん、タバテの上宮さん御夫婦と子供さん。此人方は日本へ二ケ月居て伯國に又戻るそうな

父上が僕にサントスで紹介した服部さんの子息と僕とは船中無二の友達だ。毎日將棋や圍碁をやつてる

船員や船客は皆いいが、室附のボーイは仲々不埒な野郎で不親切だ

リオ出發の際はナタール丈けほか寄港せないと云ふ事だつたが、ビクトリア港にも寄いた。それ以來港に寄らず、唯今キューバ共和國附近を通つてる

後三日したら北米のホーストン港に着く筈と

でニユオルレンス港迄十日間もかゝるだらう。積んだり降ろしたりするんだと

今日迄は毎日天氣は快晴であつた。時々大風が吹いて船は進まない程揺れた

大した暑だつたが、昨日頃から涼しい

プリンダーデや、トバゴ諸島を過ぎて今日はジヤマイカ

鯨一匹と海豚二尾を見た。鯨に逐はれてる魚の群も見た

小鰻や船から釣つたが、臭い事、靴足の臭いだ

今日室附のボーイに十円づつゴルヂエタをやる事にした

僕の懐中はフリイヨになる

コンディサン・ジヨアキン街に住む渡部さんの番地を東京宛知らせて下さい

船で散髪したら一円拂つた

衣服の洗濯なんかやらずにそのままほつたらかしだ

聖市日本病院建設寄附應募者芳名並金額

第六十二回發表

リベロンプレット地方委員會扱

▲アララクワラ線マツトン驛

カンプイ耕地フロリダ區

十ミル（全額拂込濟）玉城眞仁

五ミル宛（全額拂込濟）村田晋松、仲村渠喜盛

▲全線同驛同耕地ベルヂンニヤ區

五十ミル宛（全額拂込濟）松田學、池田佐直

二十ミル宛（全額拂込濟）大橋清正、安齊帖義、天野與吉

十ミル宛（全額拂込濟）黒須円次郎、松本嘉壽、照井由太郎、濱田小原鐵、立山秀雄、武田公平

中村八郎、市村小太郎、濱田五ミル宛（全額拂込濟）小原一喜、内堀初太郎、中井常一、江崎菊次郎、武内正男

▲全線クルバ驛バーラブレート耕地

三十ミル宛（全額拂込濟）若林熊吉、伊藤六助、堀部忠弘、藤原梅治、城間善吉

二十五ミル（全額拂込濟）奥田正豊

二十ミル宛（全額拂込濟）渡邊義光、折出榮吉、秉城永良、橋本院一郎、仲本與太郎、芙林金市

十五ミル（全額拂込濟）沖原平助

十ミル宛（全額拂込濟）寺坂清藏、小谷三次郎、川武當蒲戸次郎、松本嘉壽、照井由太郎、濱田十ミル宛（全額拂込濟）黒須円次郎、松本嘉壽、照井由太郎、濱田

五ミル宛（全額拂込濟）小原一喜、内堀初太郎、中井常一、江崎菊次郎、武内正男

▲全線クルバ驛バーラブレート耕地

三十ミル宛（全額拂込濟）若林熊吉、伊藤六助、堀部忠弘、藤原梅治、城間善吉

二十五ミル（全額拂込濟）奥田正豊

二十ミル宛（全額拂込濟）渡邊義光、折出榮吉、秉城永良、橋本院一郎、仲本與太郎、芙林金市

十五ミル（全額拂込濟）森孫平

十ミル宛（全額拂込濟）湯谷福藏、秋山幸一、川村小太郎、濱田

五ミル宛（全額拂込濟）宮城徳三、平井芳蒼、邊上名蒲戸、中宇根清明

△小計二コントル四百七十六ミル五百レース也

（全額拂込濟）

▲バウルー地方委員會扱

▲バウルースタ線マリリヤ驛東洋植民地

六十ミル宛（全額拂込濟）山田

六十ミル宛（全額拂込濟）孫清

五十ミル宛（全額拂込濟）孫清

四十ミル宛（全額拂込濟）堀江

勲八、山崎幸吉、菊地藤男

二十ミル宛（全額拂込濟）渡部

勇、西田亀市、永松巳三郎、

屑内重之

十五ミル宛（全額拂込濟）渡邊

十五ミル宛（全額拂込濟）湯谷福藏、秋山幸一、川村小太郎、濱田

五ミル宛（全額拂込濟）津波邊

一、平井芳蒼、邊上名蒲戸、

△小計二コントル四百七十六ミル五百レース也

（全額拂込濟）

▲バウルースタ線マリリヤ驛

洋植民地

六十ミル宛（全額拂込濟）山田

四十ミル宛（全額拂込濟）堀江

勲八、山崎幸吉、菊地藤男

二十ミル宛（全額拂込濟）渡部

勇、西田亀市、永松巳三郎、

屑内重之

十五ミル宛（全額拂込濟）渡邊

十五ミル宛（全額拂込濟）湯谷福藏、秋山幸一、川村小太郎、濱田

五ミル宛（全額拂込濟）津波邊

一、平井芳蒼、邊上名蒲戸、

中宇根清明

△小計二コントル四百七十六ミル五百レース也

（全額拂込濟）

▲バウルースタ線マリリヤ驛東